

# 新山協ニュース

▲ 発行者 鈴木敏雄 ▲ 発行所 新潟県山岳協会  
〒940 長岡市学校町1-12-23 室賀輝男方 TEL 0258-32-0428

## 「登山技術」

技術委員長 平田大六  
(関川村山の会)

ひきつづき技術委員長をおおせつかった。経験、知識、技術、いずれにも貧困な私であるので、その任に不適であることは、自分自身が最もよく承知している。まあ、むしろ、そんなことで「開きななおひきうけた。ご指導いただき。

技術委員会の今年度の事業は、6月21日新発田市杉滝岩で実施する岩登講習会だけである。エキスパートの皆さん方に講師をお願いしてあるし、本号別欄で詳細案内してあるのでここでは省略させていただく。

そこで、「登山技術」ということについて、少し考えてみたいと思う。  
技術と知識を私は区別して考えている。一口で云えば、知識を実行してゆくのが技術

であると思ふ。例えば、岩登りのテキストを十分に読むことは重要であるが、読んで熟知しただけでは役に立たない。これを実際やってみて習熟してはじめて「流れるような動作」で用具をこなして登はんしてゆくことができる。つまり、知識を経験を重ねて実行して、はじめて技術ということになる。あるいは、遭難救助訓練などで、救急法を毎年私は教えてもらっている。気道確保とか副木と関節の関係とか、理屈は理解できているが、実際ケガ人に遭遇してギコチないのは、私の場合まだ技術になっていないからだ。

技術というものはこんなものだと思う。  
こうしてみると、登山の場合には技術というものはかなり広い分野にわたっていることに気づくであろう。岩や氷雪

## 遭難対策部の現況

遭対委員長 五十嵐 篤 雄

技術、あるいは、新しい用具や新素材の装備、という一面だけのものではない。  
登山の技術は、生活技術から読図、観天望気、記録とり、報告書のつくり方、等という含まれていることに気づく。あるいはまた、海外の山岳へ踏み入る場合、原住民の人達といかに効果的に交際するか、ということも大切な技術の一つだ。写真やタキ火も立派な技術だ。先輩である築木力氏は最近の著書のなかで、登山という行為は記録のまとめをもってはじめて完結する、というような意味のことをおっしゃっておられる。心にとどめておきたい条理である。  
登山という行為のなかには、多岐にわたった技術が存在していることがわかるであろう。私は、このような広く、長い目で、自分の趣味道楽の登山というものを考えてゆきたいものであると思っている。

仲間の事故は、仲間で処理しよう。ということ昭和43年6月、新潟県山岳協会に遭難対策部が発足した。  
山を愛する人達、登山を趣味とした人達の集りである以上、山岳遭難事故を起こす可能性は、いちばん高い訳である。  
勿論、救助隊を組織し、敏



きると殆んど、その人達のお世話にならなければ、救助活動はできなかった。

近年、生活様式が変って山に入らず、サラリーマンとして都市へ流出する人達が増え、山の精通者の老齢化は歯止めが効かなくなっているのが現状である。

県警の緊急救助用ヘリコプター越風の活躍は目覚ましいものである。参考までに昨年5月から10月まで、県内の山岳遭難は13件(山菜採り他を除く登山者だけ)で、そのうちヘリコプターに救助されたのは6件である。

ヘリコプターにも、降雪、吹雪、強風、濃霧等、いくつかの泣きどころがある。

ヘリコプターの飛行不可能な場合は、警察官、消防団が集り海作戦となるが、山の知識、読図力もなく、登山用具もない、おまけにその山の精通者もない。となると充分な救助活動はできない。

しかし、その山を春夏秋冬ホームグラウンドのように登っ

ている地元山岳会がある。

県山協遭難対策部は、事故防止と救助対策を常に講じているが、県山協、県遭対協、県警本部の要望により組織として、救助、捜索に出動したことはない。しかし献身的な活躍により、遭難救助、捜索等行われており、所轄警察の

### 第41回国民体育大会に参加して

新発田高校 長谷川 真理

要請に応じ出動することになると、仲間の事故でなくとも出動しなければならぬのが現状である。これからも山岳遭難防止対策に対し、充実した研究会、講習会を、おこなってゆく所存です。各位の御協力をお願いします。

去る10月12日に開幕した国体に参加出来たことを今しみじみとうれしく思っています。越大会は2位と何とか登りつめることができました。決して努力が無かつたわけではありません。国

山岳協会の方々、成年男女の方々のお世話があったからこそ。本当にどうもありがとうございます。山岳競技の楽しさ苦しさいろいろと教えてもらいました。みなさんのお力添えが無かつたら今ここでこうして筆をはしらせる私

はいなかつたことでしょう。はっきり言って私達はラック

田校登山部に入った女子はた

ったの三人だけ。初めて登った山は裏五頭でした。そして苦しい夏合宿は白馬岳でした。あの朝日が登る前の眼の下に広がる雲海、やっぱり登山部に入って良かったなと思わせてくれました。それから毎日苦しいトレーニングが続きました。そして、60年度の県予選会で華々しく優勝を飾りました。初めての山岳競技だったので緊張しっぱなしの2日間でした。

そういうことで北信越大会と歩を進め、ここではないきなり最下位。まあ予測はしていたものの実際がっかりしてしまつたのでした。今年度になって新発田校チームもメンバーチェンジし、今回の辛川恵美子、佐々木雅子、長谷川真理の3人がなんとかして北信越で優勝し、本國体に臨もうと決意したのです。だがやはり長野には敵わず、第2位になつてしまいました。でも今年

は2組出場できるといふことで國体出場の望みはかなえられたのです。

田校登山部に入った女子はた

本國体では、全国レベルの強さをまざまざと見せられました。口惜しいけれど私達は今一歩及ぶことが出来ませんでした。それにみんな元気が良いのです。多少苦しくとも決してへこたれませぬ。笑顔で吹き飛ばしてしまうかのうに明るい顔は消えることがないのです。

最後に、帯刀勤先生に一言お礼を言いたいと思います。こんなに我がままな私達がいままで続けてくれたのもひとえに先生のお蔭です。ありがとうございます。先生のお人柄の故に私達はここまでのびのびと何に臆するところもなく頑張つてこれたのです。本当にありがとうございます。

山岳に学んだ根性を忘れずにこれからも頑張つてゆきたいと思ひます。

(掲載が遅くなりました。新発田高校は昨年の山梨國体に、少年男子、少年女子とアベック出場し、同校創立90周年に花を添えました。)



地元の山紹介

ドンデン山

佐渡山岳会

中道 康男

周囲217Km、面積857Km<sup>2</sup>の日本海最大の佐渡島、その北側に位置する大佐渡山脈。中心は最高峰の金北山である。が、今回は、その北東側にドンと構えるドンデン山を紹介しよう。

海拔934m、頂上一帯は自然の芝生が一面に広がる高原であり、両津湾・国中平野、視界の良い日には遠く鳥海山・飯豊連峰が望めるその眺望は、誠に素晴らしいものです。又夜ともなれば両津市街の夜景と共にイカ釣り船の漁火が点在し、ため息のもれるばかりです。

近くには、山小屋・キャンプ場・国民宿舎大佐渡ロッジ(約100名収容可能)があり、宿泊は思いのままお好みに応じて泊れます。更に頂上

付近にはシャクナゲ・ツツジの群生が見られ(開花期は6月上旬から中旬)花を見るもよし、放牧されている牛と遊ぶもよし。

もちろん大佐渡の主りょう線として、北東の金剛山へ・南西の金北山への貴重な中継地点でもあります。

始動

高体連行事

高体連の総体一次予選会が4月に行なわれた。上、中越

地区が4月22日、24日巻機山、下越、新潟地区が4月16日、18日二王子岳で開催された。高校総体の県予選会は例年6月上旬に開催されているが、

一次予選会はチーム数をしぼるのではなく、春山の良さを生徒に教え、又新しい顧問の学習の場として、残雪期にセットされている。対象は、2、3年生で、講師の先生から、キックステップ、ピッケルの取り扱い、滑落停止、ザイルワーク等を熱心に修得して学

長岡東山 山開き

雪解けの進んだ東山連山の山開きが4月19日行われた。

ふもとの成願寺からと栖吉の普濟寺から3コースに分かれて登山し、頂上の八方台休暇センターを目指して登る。

コースは城山コース、火打沢コース、森立コースで、それぞれのコースは長岡ハイキングクラブ、市山岳連盟、長岡スキー協会の各団体が引率

する。3コースとも1時間半、2時間の山行で頂上に着き、全登山者が登ったところで主に「修板式」が行われ、午後2時に下山に移る。

この山開き登山はすでに38年前から続いているが、例年200人前後の参加者がある。数年前までは昼食時に参加者全員にみそ汁などもふるまわれたが、近年は参加者も独自

に携帯こんろ携帯食品などを持ってくるようになったため、主催者側はサービスを中止した。そこで城山コース担当の長岡ハイキングクラブは、部費を支出してみそ汁を提供して参加者に喜ばれている。

家族連れ参加者が多い山開きを楽しんでもらおうと、昨年引き続き今年も風船500個を飛ばした。子供達のメッセージを乗せた風船は越後平野を高く飛び舞い、また白く輝く守門岳を目指したり思い思いの方向に飛んで行った。山開きから生まれる文通友情が楽しみである。

今年山開き前に八方台までの道路除雪が行われたため、

車で頂上まで行くことができず、昨年の山開きのときはまだ除雪されておらず、御抜いをする神主も栃尾市警井沢から歩いて頂上を目指した。

第5回 自然保護研究会 案内

期日 昭和62年6月13日(土)

14日(日)

会場 苗場山

集合地 湯沢町三俣

和田ロッジ

☎0257(88)9105

R17脇ゴンドラ乗場近く

費用 7000円

一泊三食 通信費他

日程 13日19時現地集合

14日現地視察

苗場の現状報告

視察内容のまとめ

講師 環境庁自然公園指導員

坂井 真氏

担当 曾根義一、南雲利彦

申込 糸魚川市大和川346

石田国夫

☎0255(52)3290

又は協会事務局迄





### 岩登講習会の実施について 案内

技術委員長 平田大六

本年度の岩登講習会を左記のように実施しますので多数参加ください。

#### 記

日時 昭和62年6月21日7時  
場所 新発田市内ノ倉杉滝岩

#### 指導事項

- (1) ザイルの結び方(ブーリン結び、8の字結び、インクノット、ブルージック、テグス結び、ゼルプスト8の字、テープ結び、二重ブーリン)
- (2) 用具(ゼルプストバンド、ヘルメット、カラビナ、シュリンゲ、ハーケン、ハンマー、手袋、ボルト、8環)
- (3) 登り方、フリークライミング(三点支持、ホルドスタンス、ルートフ
- (4) 懸垂下降(8環、肩がらみ)
- (5) 登はん(ブルージック登はん、隔時登はん)
- (6) 脱出
- (7) タイヤ落し
- (8) 班編成と指導内容
  - A班(未経験者) (1)~(6)
  - B班(A・Cの間)
  - C班(経験者) (4)~(8)

#### 指導方法

- (1) 平地で集合指導
- (2) 岩場で個々に
- (3) 岩場で個々に
- (4) 岩場でバーテーター毎

以上を昨年に準じて行ないますが、実施までに講師打合せ会を開いて細部検討させていただきます。20日の夜は前夜祭を計画しています。

参加費 500円  
申込 ハガキに氏名、年令、住所、所属を明記して6月15日必着。  
〒959-132  
岩船郡関川村小見237  
平田大六研究所 宛

### 連絡

指導員検定会、申込者が少なかったため今回は中止となりました。各会におかれましては技術の修得、向上の為にぜひ指導員の養成に努力をお願いします。

協和ガス化学ワンダーフォール部、入広瀬村体協山案会の2団体が退会しました。分担金未納団体、昭和62年度分、過年度分が若干あります。納入をお願いします。

いつもお願いしておりますが、事前の申込みを正確にしてくださいよう協力ください。

### おくやみ

柏崎山岳会の押見洋平氏が、去る5月4日北ア・槍ヶ岳北鎌尾根から千丈沢に転落、死亡されました。同会の中堅で、会員仲間からも信頼されていた人です。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### あとがき

新山協ニュースがスムーズに発行されている。毎月発行の熱望に応える努力であるが軌道に乗ったとはまだ言えない。各地区に編集委員を委嘱し投稿をお願いしている。できることなら各団体内で編集委員を選出され、自分の会、地元の山の宣伝に新山協ニュースを活用されたらと思う。努力を重ねた会には会員が増えている。頑張りましょう。

### 読書は万能の基

新潟市営所通1-301

## 学生書房

電話 025-222-9870番

教習種目 大型・普通(第1種)大特  
自二輪・身障者用各種自動車

## 中条自動車学校

北蒲原郡中条町大字高野字茨島

中条(0254)44-8071

社長 高野愛子